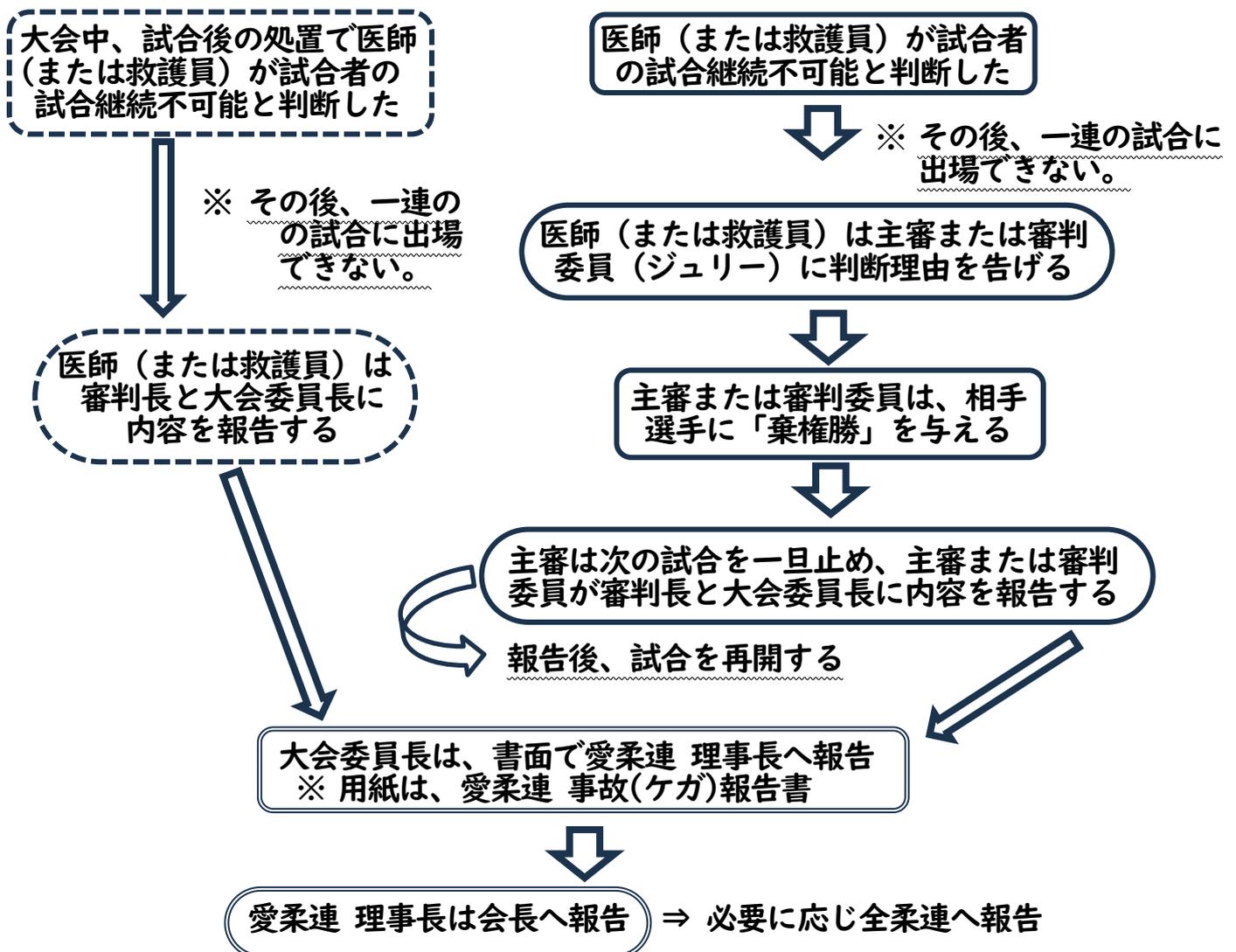


愛知県の柔道大会において医師が試合続行不可能と判断した 場合の対応について

(一社)愛知県柔道連盟では、IJF試合審判規程に則り「医師が試合者の試合続行が不可能と判断した場合」、一連の報告・連絡事項をマニュアル化しました。
今後、愛知県内の大会で上記事案が発生した場合、下記のように対応する。

「Doctor Stop」による一連の対応マニュアル



◇ IJF 試合審判規程より一部抜粋

「出血が止まらず覆うことができない場合は、相手の試合者に「棄権勝ち」が与えられる。」
また、「出血が止まらない場合、医師が審判に報告し審判は相手の試合者に「棄権勝ち」を与える。」
出血の原因である傷が深い場合、試合を継続することによって更なる悪化につながる可能性があれば、試合者の健康を第一に考え医師の判断を重く受け止める必要がある。
血液には感染症の原因となる微生物を含んでいる可能性があり、安全衛生上相手の試合者の健康被害をもたらす可能性があることも排除できない理由である。